

読書の楽しさを味わって

島川小学校

島川小学校では、11月を読書月間にしています。本と触れ合う機会を設けることにより、読書の楽しさや喜びを味わうとともに、読書意欲を高められるようにすることが目標です。その取り組みを紹介します。

読み聞かせ

1・2年生の児童は、本の読み聞かせにチャレンジします。動画に撮り、各学級で視聴してもらいます。3・6年生は「ひとこと感想」を書きます。

読書交流会

3・6年生は、読書交流会で、おすすめの本の紹介にチャレンジします。紹介したい本を選び、伝えたい内容を整理して、聞き手に分かりやすく発表し、交流し合います。



「火狩りの王」という本を紹介している様子



「戦争」についての本を紹介している様子



質問をしている様子

本の紹介をする児童は、聞く人に分かりやすく伝えるために、時間をかけて準備をします。聞く側の児童は、質問や感想を発表することをがんばります。

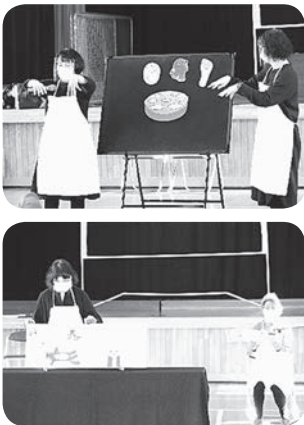
紹介した本は、図書室に展示します。読書交流会の後、早速気になる本を見に来た児童がいました。



紹介した本を展示している様子

おはなし会

読書交流会と同じ日に、読み聞かせサークル「うさぎのみみちゃん」の方に学校へ来ていただき、楽しい「おはなし会」をしていただきました。本の読み聞かせだけではなく、手遊び歌も教えてもらい、児童は笑顔で参加していました。



「おはなし会」の様子

おすすめの本のコーナー

先生がおすすめする本のコーナーは、今回、本校教諭の岡村が担当しました。展示しているおすすめする本の名前と理由を紹介します。

「にじいろのしまうま」は、誰かが困っていたら助けてあげる・そんな思いやりにあふれた世界が描かれた本です。「エルマーのぼうけん」は、りゅうの子どもを助ける冒険の旅に出発したエルマーが、どうぶつ島で、ライオン、トラ、サイなどのおそろしい動物たちに出会い、やりこめていくお話です。

「羅生門」は、母に捨てられた後、盗人に育てられ、鬼として育っていく「ゆきまる」が、ある日のできごとをきっかけに、人としての心を取り戻していくお話です。ゆきまるの心を動かしたものは何だったのでしょうか。

「野口英世」は、1歳の頃に負った指が開かなくなるほどの大やけどなどの困難に負けず、勉強に励み、伝染病のワクチンや薬を開発し、世界中のたくさんの人たちの命を救いました。困難に負けないで目標に向かって努力を続けた姿に感動します。

もうすぐやって来る冬休みにも、興味を持った本を、ぜひ読んでほしいです。

(島川小学校 教諭 安井 陽子)